

SGH講演会を開催しました

5月21日（火）、講師に長崎大学経済学部 山口純哉准教授をお招きしてSGH講演会を開催しました。山口先生には「ともに良き世を創るために～課題研究の作法と長崎の課題～」と題してご講演いただきました。山口先生は「災害からの復興へ向けた社会貢献事業」を研究テーマに掲げ、阪神・淡路大震災や東日本大震災に深く関わってこられました。そのようなご経歴を踏まえ、講演会の前半では具体的な行動の仕方や視点についてお話いただきました。また後半には、買い物弱者など長崎の抱える問題や課題に加え、それらの課題をどうグローバルな問題の解決につなげていけばいいのかという見方についても教えていただきました。

今後、生徒たちはグループに分かれ、各グループごとに研究計画を立てていくことになります。今回の講演を受けて生徒たちは課題研究に向けての明確なビジョンを持つことができたようです。



【生徒の感想（抜粋）】

「今回の講演で特に参考になったことは、長崎の問題をSDGsをヒントに考えるということだ。SDGsについては中学生のときに社会の授業で習っていたので知っていたが、国単位で考えるものだと思っていた。しかし、今回長崎のような地方でもSDGsをヒントに考えることで、少しでも問題を解決できると知った。長崎の問題は世界全体の問題に共通しているとおっしゃっていたので、身近な問題から考えていきたい。」

「先生がおっしゃられた『当たり前を疑う』ということを実践していきたい。日常生活の中で、少しでも疑問に思ったことはメモを取ったりして、研究に生かしたいと思います。また、その疑問を他の人に話し、その人の考えを聞くことで、より深いところまで考えることができると思うので、意欲的に話し合いを持ちたいと思います。」



SGH講演会の様子



生徒代表からの謝辞